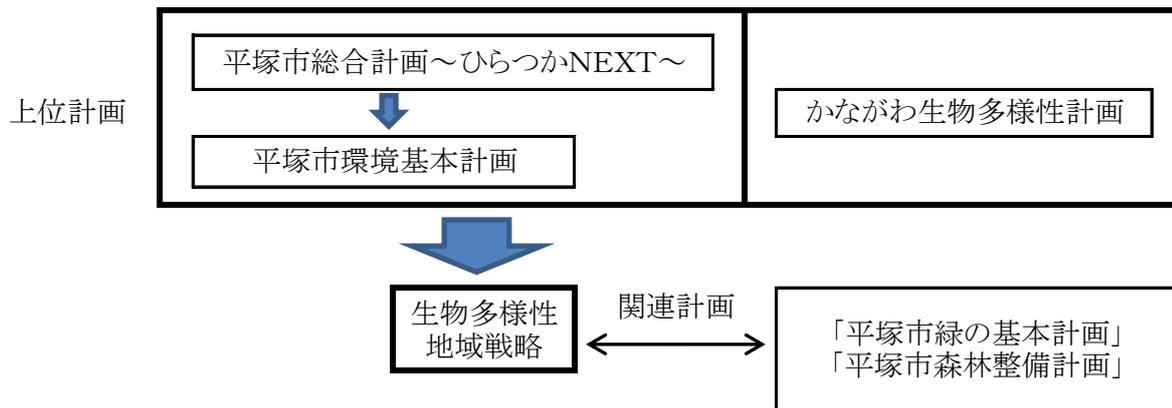


平塚市生物多様性地域戦略策定の考え方

○位置づけ



○地域戦略のイメージ

1) 目標設定

- ・平塚の特性に応じた生物多様性の保全
- ・生物多様性の理解と保全行動の促進

かながわ生物多様性計画に則り、同じ目標を設定

2) 施策の方向

平塚市環境基本計画47頁「施策1 生物多様性の保全対策の推進」に掲げられた「①野生生物の情報収集、生物多様性の保全策の検討②生物生息空間の保全対策の推進③野生生物への理解の促進④有害鳥獣対策の推進⑤特定外来生物の防除⑥生物多様性の保全に取り組む市民活動団体等の活動促進」に基づき、それらの施策をより具体的に取組むための「生物多様性アクションプラン(仮称)」(以下、「Aプラン」という)を策定する。

対象区域はかながわ生物多様性計画に基づく

西部丘陵(山麓の里山エリア)

相模川・金目川沿岸及び平塚海岸(河川・湖沼及び沿岸エリア)

「平塚市環境基本計画」と「生物多様性アクションプラン」の組合せが本市の地域戦略となる。

○アクションプラン策定作業

1) 策定母体の組織化

- ・「生物多様性推進協議会(仮称)」(以下、「協議会」という)の設置

現状認識として、生物多様性保全活動に取り組む市民活動団体等の活動状況などや生き物調査から課題を整理し、Aプランに掲げる具体的な事業を立案するとともにその取組みを実行し、生物多様性が保全された自然環境を地域資源として発信するため、協議会を設置する。

- ・協議会の構成

植物、野鳥、昆虫などに造詣深い市民団体を中心に組織し、学識経験者や行政が加わる。

事務局は環境政策課に置き、平塚市からの委託により運営する。

※詳細は資料「仮称:平塚市生物多様性推進協議会の構想について」を参照

平塚市生物多様性推進協議会(仮)の構想について

○目的

【目標】

- ・平塚の特性に応じた生物多様性の保全
- ・生物多様性の理解と保全行動の促進

かながわ生物多様性計画及び平塚市環境基本計画に基づき、生物多様性を保全するための施策(事業)である「生物多様性アクションプラン(仮称)」を立案し、それを実施、推進することで、平塚市の生物多様性が保全された自然環境を地域資源として、発掘し、磨き上げ、それらを発信することで、シティプロモーションにつなげてゆくことを活動の目的とする。

○構成

里山や河川沿岸で活動し、生き物に造詣のある市民団体や企業などを中心に学識経験者と行政を加え組織する。

(案)

NPO法人 暮らし・つながる森里川海

里山をよみがえらせる会

桂川・相模川流域協議会相模川湘南地域協議会

金目川水系流域ネットワーク

日本野鳥の会神奈川支部

こまたん

(学)平岡学園(平岡幼稚園)

横浜ゴム(株)平塚製造所

<庁内関係課>

参加課:環境政策課、博物館、みどり公園・水辺課、まちづくり政策課、農水産課

○活動案(2018年度)

- ・全体会議

年2回開催、各団体の情報交換をはじめ、生物多様性保全策の検討及び全体スケジュールの策定などを行う。アドバイザーとして、外部有識者を招く。

- ・トコロジスト養成ミーティングの開催(実施事業)

年4回開催、市民団体等が、現在取り組んでいる自然環境保全の活動を学び、自然観察などを通して、現況を知り、生物多様性への理解を深めるとともに、課題を抽出し、生物多様性保全行動を進めるための事業を検討する。

講師として外部有識者を招く。

(案)

◇里山保全活動を知る(会場:土屋里山体験フィールド、里山モデル事業)

自然観察、園児等の里山遊び見学、里山農業体験、意見交換

◇馬入川の水辺を知る(会場:馬入水辺の楽校)

自然観察、意見交換

◇金目川の水辺を知る(会場:金目川観音橋付近)

自然観察、意見交換

※トコロジストとは、ある場所のことなら何でも知っている。「その場所の専門家」のこと。

生物多様性推進協議会(仮)活動計画案

年 度	活 動 内 容
平成30年度 (2018年)	<ul style="list-style-type: none"> ・会議:2回 ・ワークショップ(トコロジスト養成ミーティング):4回 参加団体の相互理解、現状把握 ・成果物:市民活動団体等の取組みと課題をまとめ(冊子等)、市民にPR
平成31年度 (2019年)	<ul style="list-style-type: none"> ・会議:3回 ・フィールド調査(西部丘陵):4回 希少生物の選定、区域の絞り込みを行った上で、生物調査を実施 成果物として、調査結果レポートを作成 ・イベント(市民参加型生物調査):1回
平成32年度 (2020年)	<ul style="list-style-type: none"> ・会議:3回 ・フィールド調査(平塚海岸・相模川及び金目川沿岸):4回 指標となる生物の選定、区域の絞り込みを行った上で、生物調査を実施 成果物として、調査結果レポートを作成 ・イベント(市民参加型生物調査):1回
平成33年度 (2021年)	<ul style="list-style-type: none"> ・会議:3回 ・フィールド調査(フォローアップ):4回 前2年で調査できなかった区域や対象にしなかった生物を調査 成果物として、調査結果レポートを作成 ・イベント(市民参加型生物調査):1回
平成34年度 (2022年)	<ul style="list-style-type: none"> ・会議:4回 ・シンポジウム(フォーラム):1回 基調講演、パネリストによる討論、活動報告等 ・生物多様性アクションプランのまとめ(成果物) 市民ぐるみの保全活動の活性化を図り、生物多様性が保全された自然環境が地域資源となり、生活に潤いや安らぎをもたらすこと、また、それを利用して自然と人との共生を目指す取組みをアクションプランとしてまとめる。 ・市民参加型イベント:1回(外来生物駆除など)

※この計画案は、協議会設置前の案であり、協議会設置後はこの案をベースに協議するため、委員の意向により変更となる可能性があります。